
素人車オタクのセダン考

fumia

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

素人車オタクのセダン考

【Nコード】

N0534BA

【作者名】

f u m i a

【あらすじ】

素人な自称車オタクが、国内外新旧のセダン型乗用車について語ります。

第一回：BNR32、R32

言わずと知れた、日産・スカイラインの8代目モデルである。初めてスカイラインのモデルに3ナンバー車が登場しただけでなく、ケンメリを最後に途絶えていたGT-Rが復活し、今日まで長らえた発端を拵えた、まさに転換期の自動車である。

さて、名車と呼ぶに相応しいこのR32型GT-Rだが、筆者が車好きになる切っ掛けを与えてくれたモデルなので、思い入れも人一倍ある車だ。21世紀に入って10年を優に過ぎた今日でも最新の車と然程遜色ない凛々しい面構えは何時見ても心を踊らせる。いつか愛車として保有したいものだ。

ただ、この車。スペックがどうのこうの以前に、筆者には手が出しにくい部分がある。内装……、特にライト等のスイッチ群だ。

詳しくは読者個人で目の前の機械を利用し検索して貰う事にして、実際にR32のコクピットを目の当たりにすると、その異様な佇まいに目が点になる筈だ。

まず、ウインカーやワイパーのレバースイッチ。通常これらはステアリングコラムの両側に取り付けられている物だが、R32の場合はダッシュボードのメーターフードの両下端に直接固定されている。

そして、そのメーターパネルのカバーにはハザードランプの作動スイッチなど、その他のボタン類も装着されている。多少車に見慣れている者なら異口同音に異様だと叫びそうな、エキストラリクな雰囲気醸し出している。

このスイッチ類の配置を、筆者はこのR32と、同時期のZ32しか知らない。当時の日産技術部や開発部、デザイナー達がどうい

う境地でこの機構をこの2車種へ投入したのか定かではないが、そう言う意味でも貴重な車と断言しても過言ではない。

R32に於いて特筆すべき事はもう一つ、事実上スカイラインを冠する4ドア車として最後のハードトップとなってしまった事である。

R33以降、GT-Rやクーペを除いて、4ドア車でスカイラインのハードトップは現在まで生産されていない。もしかすると、今後製造される可能性があるかもしれないが、サイドからの衝撃に弱いというハードトップ車の特性上、その望みは限り無く0に近いと言っても過言ではないだろう。

ただ、GT-Rとクーペに於いては現在もBピラーのあるハードトップ

ド車が造られている上に、メルセデスやVWの一部車種に4ドアクーペという名称でハードトップのセダンが再び生産されつつある。日産がルノーの下でメルセデスとも結びつこうとしている今、スカイラインの4ドアハードトップがその復活を遂げる日も有り得る。

少なくとも、筆者はそんな夢を見てみたい。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0534ba/>

素人車オタクのセダン考

2012年1月1日01時46分発行